

旭川歯科医師会便り

Vol.12

事務局／旭川市金星町1丁目1-52 道北口腔保健センター内
(0166)22-2361

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>

的な存在なのですから、敬意と親愛感をもつて眺めでゆきたいと思います。

【微生物とは】

ウイルス、細菌（クラミジアやリケッチアを含む）、真菌、原虫を微生物学では微生物として扱っているようです。

ウイルスは細胞構造をもたないので、微生物と呼ぶ

ことは問題があるのですが、通常は微生物に含めています。

同様、細胞から成り立つているのですが、ヒトが多細胞生物であるのに対し、彼らは单細胞生物であること

が特徴です。このように細胞イコール生命を意味する

ようなものですから、細胞に注目して、地球上の生命

体は最近新しく三つに大分

なにせ彼らの一部は三十五億年も前に既に地球上に住んでいて、わずか数百万年

の歴史しかもたない私達人間のウルトラスーパー祖先

に分かれている】
地球上の生命の歴史をなぞってゆくと、一本の樹に似た系統図が得られます。そこでその樹のことを生命樹と呼びますが、この樹は大きく三本に枝分かれしていることが近時DNA研究の著しい進歩によって明らかとなりました。

そのうちの一本の枝はヒトに至る進化の過程を含み、枝の基部には真菌や原虫なども並んでおり、真核生物

と呼ばれる生命が花開く枝です。地球温暖化に伴い我が国でも流行するかも知れないといわれるマラリアの病原体なども、人間と同じ枝に属しています。サクラやチューリップ、ミニズや

トンボ、イス、ネコ、カラスなどがこの枝に属する生

命体であることは勿論です。

残る二本の枝のそれぞれで脈々と命をひき継いで生きている生命体です。

ワタシの住み場所は、例

(A)バクテリア
これはユーバクテリア

(真正細菌)とも呼ばれ、私たちにもなじみの多い細菌のことです。

(B)アーキア

これはアーキバクテリア(古細菌)とも呼ばれ、特別の環境に住む細菌のことです。

要するに従来、細菌としてひとつにまとめられていましたのが、分子生物学の発展によつて、どうしても異なる生物群に分類されるべきであると知れたのです。

アーキアとバクテリアについては、ちょっと趣向を

変えて、彼ら自身に自己紹介をしてもらうことにしました。

【ワタシハ、あーきあ】
ワタシは、人間達にとつてはとても耐えられない凄まじく厳しい環境のもとで生きている生命体です。

えば、深い海の底の暗闇の世界、地底何千mという所にある岩盤の裂け目、凍て付く南極大陸の氷の下、火山の熱い噴火物の近く有害な硫化水素の吹き出す場所、などなどです。

ヒトやイヌやネコなどの大きな生命体は、有機化合物(タンパク質や糖質や脂質)を食して、つまりは他の生命体そのものやその産物を食してエネルギーを得し、自らの生命を維持しているようですね。

然しワタシは、ヒトと異なり、他の生命体を死に至らしめて己が命を全うする必要など全くなく、この惑星に豊富に存在する無機化合物からエネルギーを取り出すことができるのです。

その例として、深い深い海洋の底の、そのまた深くにある熱いマグマのエネルギーとミネラルを利用して繁殖する優れた我々アーキ一族のことを、それに依存する生命体と共に、次回に紹介いたしましょう。